

地域支援だより

きらりNet

平成25年5月24日

第32号

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

みなさん、こんにちは。いつも「きらりNet」読んでくださり、ありがとうございます。

先日ある高等学校から電話相談が入りましたが、この「きらりNet」を見て相談したとのことでした。今号で第32号となりましたが、みなさんから大きく育てていただいていると感じます。本当に嬉しく思います。

さて、今年度、本校は「全肢研（全国肢体不自由教育研究協議会）秋田大会」を主管いたします。期日は11月13日（水）から15日（金）までの3日間で、全国から約500人の参加者を見込んでいます。

中でも、目玉は2日目の14日（木）に行われる「講話」で、講師は文部科学省の分藤賢之調査官です。今年度、新たに調査官になられた方で、その内容が大いに期待されます。また、「分科会」は、肢体不自由教育を中心に「キャリア教育及び進路指導」や「情報教育・支援機器の活用」、「地域との連携」など、幅広く10分科会を準備しておりますので、どなたでも参考になるものと思われます。各分科会の指導助言者も、文部科学省の元調査官や特別支援教育総合研究所の方々など、とても魅力的な方々です。秋田ではなかなか聞くことができないお話に直接触れることができる絶好の機会ですので、ご期待ください。

また、3日目の15日（金）には、「ポスター発表」と「公開授業」も行われますので、ぜひ参加していただきたいと思ひます。ちなみに、県内の教職員からは参加費・資料代をいただかないことになっております。（*詳細は、本校のHPをご覧ください）

最後になりましたが、今後も県内外の最新の情報を提供してまいりたいと考えています。また、みなさんからもこれまで同様、たくさんのご意見を頂戴したいと思いますので、どうかよろしくお願ひいたします。



秋田きらり支援学校マスコット「きらりん」

校長 大日向邦彦

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

「病弱教育のネットワークづくりを目指して」

病弱教育コーディネーター 宮澤知明

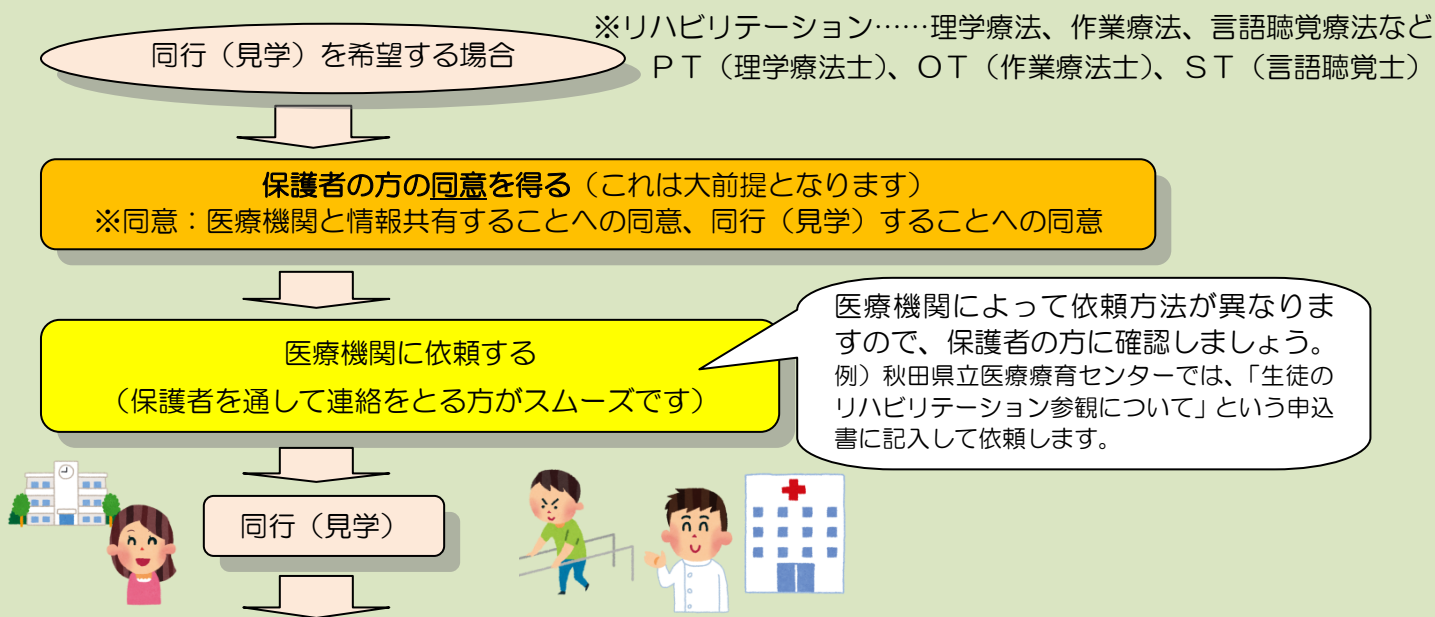
特別支援教育は、子どもたちの多様な状態に対応して行われます。「病弱教育」もその一つです。一般には病弱特別支援学校や病弱学級に在籍する子どもたちが対象だと思われています。秋田県にも平成15年に閉校した「本荘養護学校」がありました。一方、学級の方は、今年度も全県で16学級（小11、中5）あり、慢性疾患や難病の子どもたちが通院治療を続けながら学習しています。そのほか、病院内学級や通常学級での在籍もあります。どのケースも、重い深刻な病気をもちながらも頑張る子どもたちのQOLの向上を目指して行われています。生活上様々な制限のある中で学習を進め、できるだけ豊かな経験ができるようにと担当の先生や各学校が努力しています。たとえ人数は少なくとも重要な役割を担っている病弱教育です。

県では、この病弱教育の充実を「第二次特別支援教育総合整備計画」の重点の一つとし、病弱教育コーディネーターを配置して取り組みを進めていますので、どうぞよろしく願いいたします。

医療機関との連携

～リハビリテーションへの同行について～

児童生徒へのよりよい支援や指導につながるように、関係機関と学校とが連携を図ることはとても大切です。関係機関の中でも、特別支援学級等の先生から「児童生徒が医療機関のリハビリテーションを受けていますが、どうやって連携をとればいいのでしょうか。」という質問をいただくことがあります。今回は、同行を希望する場合の手順について触れます。



<情報交換>

※医療機関によって方法等が異なる場合があります。

学校生活について相談する際は、写真やビデオを用いて学校の様子（姿勢や活動の様子など）を伝えるとよいようです。事前に伝えると、同行当日に答えてくれる場合もあります。

※ 医療と教育の違いから、リハビリの内容をそのまま学習活動に取り入れることのないように十分留意しましょう。児童生徒の指導上の注意点や配慮点を知り、実態把握を深める機会としましょう。

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。



教頭 五十嵐 昌司 地域支援部 遠藤 美和子

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018（889）8573 FAX：018（889）8575

次号は6月14日発行予定です。